

大型魚礁設置事業

山本隆司、宮城吉男、上原英雄

1. 目的および内容

本事業は継続事業で、本事業の一部を水産試験場が担当している。担当内容は、事前調査（設置予定海域の深浅測量と底質調査）と魚礁の沈設位置目標としてのブイ打ちである。

2. 事前調査

適地選定のための事前調査で、調査項目は深浅測量と底質調査の2点である。昭和56年度は、すべて既存資料を用いた。

3. ブイ打ち

大型魚礁を沈設するための海上の位置目標として、下記の期日、位置にブイを打った。

昭和56年9月18日 調査船“くろしお”

中城地区 (26°-14.9' -N, 127°-51.9' -E)

昭和56年9月23日 山本隆司・宮城吉男・上原英雄

石垣地区 (24°-28.2' -N, 123°-57.7' -E)

竹富地区 (24°-23.1' -N, 123°-59.0' -E)

昭和56年10月6日 調査船“くろしお”

喜屋武地区 (26°-04.2' -N, 127°-33.5' -E)

昭和56年10月28日 宮城吉男・上原英雄

国頭地区 (26°-47.1' -N, 128°-06.8' -E)

伊是名地区 (26°-57.1' -N, 127°-51.4' -E)

昭和56年10月30日 宮城吉男・上原英雄

下地地区 (24°-42.4' -N, 125°-10.94' -E)

昭和56年11月6日 宮城吉男・上原英雄

名城地区 (26°-04.55' -N, 127°-33.7' -E)

昭和56年11月11日 宮城吉男・上原英雄

伊是名地区 (ブイ流失のため打ちなおし)

4. 大型魚礁設置個数及び設置年月

(1) 伊是名地区	1.5m角型コンクリートブロック	1,078個	昭和56年11月沈設
(2) 国頭地区	1.5m角型コンクリートブロック	1,130個	昭和56年11月沈設
(3) 中城地区	1.5m角型コンクリートブロック	1,090個	昭和56年10月沈設
(4) 名城地区	2.0m角型コンクリートブロック	586個	昭和56年11月沈設
(5) 喜屋武地区	2.0m角型コンクリートブロック	585個	昭和56年10月沈設
(6) 下地地区	1.5m角型コンクリートブロック	1,091個	昭和56年11月沈設
(7) 石垣地区	4.0m角型コンクリートブロック	58個	昭和56年10月沈設
(8) 竹富地区	1.5m角型コンクリートブロック	1,065個	昭和56年10月沈設